

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月28日		記入者	内線	5165
部名	管理部	課名	学務課	課長名	高橋 哲
事務事業名	中学校課外活動助成金				
予算上の事務事業名	中学校課外活動助成金				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14121		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
中学校課外活動助成金交付要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 助成(給付・補助・貸付) ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
中学生の、豊かな心・たくましい体を培う課外活動(部活動・同好会活動)の振興を図るため、補助金を交付するもの。			各中学校における課外活動に要する経費(用具等の購入に係る経費・校外試合に係る経費)に対して助成する。		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
5月1日現在の在籍生徒数を算定の基準とし、中学校全生徒を対象に生徒割で算出して助成。					
中学校全生徒数 15,379人 助成金 22,560千円(1人当たり 1,466円)					
部活動数及び加入生徒数 ・運動部(268部・1校当り9.63) 10,295人(78.5%) ・文化部(117部・1校当り4.33) 2,817人(21.5%)					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	24,989	22,554	22,560	25,685	25,685
一般財源	24,989	22,554	22,560	25,685	25,685
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,399	1,335	1,345	1,345	1,345
事業コスト合計(a)	26,388	23,889	23,905	27,030	27,030
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	中学校課外活動助成金			対象名称(単位)	生徒数
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	26,388	23,889	23,905	27,030	27,030
対象数	15,618	15,491	15,379	15,661	15,661
単位あたり経費(円)	1,690	1,542	1,554	1,726	1,726
前年度比		0.91	1.01	1.11	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	部活動加入生徒数（人）	指標式と指標の説明		部活動加入生徒数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	13,139.0	13,223.0	13,112.0		
目標	15,618.0	15,491.0	15,379.0	15,661.0	15,661.0
目標達成度	0.84	0.85	0.85		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	部活動加入生徒数（人）	指標式と指標の説明		部活動加入生徒数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	13139.0	13223.0	13112.0		
目標	15618.0	15491.0	15379.0	15661.0	15661.0
目標達成度	84.1	85.4	85.3		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		中学生の部活動は、豊かな心・たくましい体を培うことで、健全育成の面からも重要な意味を持つ活動であり、支援をしていく必要性が高い事業と考えている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
価値観は多様化しており全生徒が部活動に加入していないが、この助成金は、総合計画でいう「人間性豊かな子どもの育成」を目的としており、あくまで活動に対する側面からの支援である。			部活動によっては、必要備品が大変高価である。個人ではなく部全体に必要な備品の購入については、支援の検討が必要である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			